

主が定めた生き方（コリントの信徒への手紙一 7:17、20、21～26）

17 おのおの主から分け与えられた分（＝本分：本来尽くすべき責務）に応じ、それぞれ神に召されたときの身分のままで歩みなさい。これは、すべての教会（→churches＝**ἐκκλησία**：ekklēsia, ek-klay-see'-ah エクレシヤ※₁）でわたしが命じていることです。20 おのおの召されたときの身分にとどまっていなさい。

21 召されたときに奴隷であった人も、そのことを気にしてはいけません。自由の身になることができるとしても、むしろそのままいなさい。22 というのは、主によって召された奴隷は、主によって自由の身にされた者だからです。同様に、主によって召された自由な身分の者は、キリストの奴隷なのです※₂。23 あなたがたは、身代金を払って買い取られたのです※₃。（だから）人の奴隷となつてはいけません。

24 兄弟たち、おのおの召されたときの身分のまま、神の前にとどまっていなさい。

25 未婚の人たちについて、わたしは主の指示を受けてはいませんが、主の憐れみにより信任を得ている者として、意見を述べます。

26 今危機が迫っている状態※₄にあるので、こうするのがよいとわたしは考えます。つまり、人は現状にとどまってい
るのがよいのです。

→[回復訳]わたしは現在（→目前にあり、存在する）の差し迫っている事態（→圧力、強制）のゆえに、こうするのがよいと考えています。すなわち、人は今のままでいるほうがよいのです。

→[リビング・バイブル]クリスチャンは現在、大きな危機に直面しています。このような時には、結婚しないのが一番よいと考えます。

※1：大衆の集会、特に宗教的な会衆（ユダヤ教の会堂、または地上の信者や天国の聖人、あるいはその両方によるキリスト教の共同体）、教会。

※2：パウロは、自分自身ならびにすべてのキリスト者をキリストの奴隷、僕と考えていた。

→ローマの信徒への手紙 1：1

キリスト・イエスの僕、神の福音のために選び出され、召されて使徒となったパウロから、

→フィリピの信徒への手紙 1：1

キリスト・イエスの僕であるパウロとテモテから、フィリピにいて、キリスト・イエスに結ばれているすべての聖なる者たち、ならびに監督たちと奉仕者たちへ。

※3：イエス・キリストの十字架の死により、神は人間のために完全なる犠牲を払った。

→ローマの信徒への手紙 3：25～26

神はこのキリストを立て、その血によって信じる者のために罪を償う供え物となさいました。それは、今まで人が犯した罪を見逃して、神の義をお示しになるためです。このように神は忍耐してこられたが、今この時に義を示されたのは、御自分が正しい方であることを明らかにし、イエスを信じる者を義となさるためです。

※4：イエス・キリストの再臨前の世の終わりの徴である、苦難の時を迎えている時ということです。

主イエスは、終わりの時には、惑わし、不穏な噂、飢饉、地震などと述べている。パウロのみならず、初代教会の信徒たちは、キリストの再臨が間近にあること、そのために激しい苦難（終末の徴）があることを自覚していた。

→終末の徴（マタイによる福音書 24：3～14 他）

イエスがオリーブ山で座っておられると、弟子たちがやって来て、ひそかに言った。「おっしゃってください。そのことはいつ起こるのですか。また、あなたが来られて世の終わるときには、どんな徴があるのですか。」

4 イエスはお答えになった。「①人に惑わされないように気をつけなさい。5 わたしの名を名乗る者が大勢現れ、『わたしがメシアだ』と言って、多くの人を惑わすだろう。②6 戦争の騒ぎや戦争のうわさを聞くだろうが、慌てないように気をつけなさい。そういうことは起こるに決まっているが、まだ世の終わりではない。③7 民は民に、国は国に敵対して立ち上がり、方々に飢饉や地震が起こる。⇒8 しかし、これらはすべて産みの苦しみの始まりである。

④9 そのとき、あなたがたは苦しみを受け、殺される（→聖書協会共同訳：人々は、あなたがたを苦しみに遭わせ、殺すだろう）。また、⑤わたしの名のために、あなたがたはあらゆる民に憎まれる。⑥10 そのとき、多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合うようになる。⑦11 偽預言者も大勢現れ、多くの人を惑わす。⑧12 不法がはびこるので、多くの人々の愛が冷える。⇒13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。⇒14 そして、御国のこの福音はあらゆる民への証しとして、全世界に宣べ伝えられる。⇒それから、終わりが来る。」

【参考】終わりの時／終わりの時代

使徒言行録	2:17『神は言われる。 終わりの時に 、/わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたたちの息子と娘は預言し、/若者は幻を見、老人は夢を見る。
テモテへの手紙 I	4:01 しかし、“霊”は次のように明確に告げておられます。 終わりの時には 、惑わす霊と、悪霊どもの教えとに心を奪われ、信仰から脱落する者がいます。
” II	3:01 しかし、 終わりの時には 困難な時期が来ることを悟りなさい。
ヘブライ人への手紙	1:02 この 終わりの時代 （→聖書協会共同訳： 終わりの時 ）には、御子によってわたしたちに語られました。神は、この御子を万物の相続者と定め、また、御子によって世界を創造されました。
ヤコブの手紙	5:03 金銀もさびてしまいます。このさびこそが、あなたがたの罪の証拠となり、あなたがたの肉を火のように食い尽くすでしょう。あなたがたは、この 終わりの時 のために宝を蓄えたのでした。
ペトロの手紙 I	1:05 あなたがたは 、 終わりの時に 現されるように準備されている救いを受けるために、 神の力により 、 信仰によって 守られています。 1:20 キリストは、 天地創造の前から あらかじめ知られていましたが、この 終わりの時代 （→聖書協会共同訳： 終わりの時 ）に、 あなたがたのために 現れてくださいました。
ペトロの手紙 II	3:03 まず、次のことを知っていなさい。 終わりの時には 、欲望の赴くままに生活してあざける者たちが現れ、あざけて、→ユダの手紙 0:18
ヨハネの手紙 I	2:18 子供たちよ、 終わりの時 が来ています。反キリストが来ると、あなたがたがかねて聞いていたとおり、 今や多くの反キリストが現れています 。これによって、 終わりの時 が来ていると分かります。
ユダの手紙	0:18 彼らはあなたがたにこう言いました。「 終わりの時には 、あざける者どもが現れ、 不信心な欲望のままにふるまう 。」

【参考】終わりの時の人々の有様(テモテへの手紙二 3:1~5a) ⑤以下()内は聖書協会共同訳である。

しかし、**終わりの時には**困難な時期が来ることを悟りなさい。

そのとき、人々は①自分自身を愛し、②金銭を愛し(金に執着し)、③ほらを吹き(見栄を張り)、④高慢になり(思い上がり)、⑤神をあざけり(神を冒瀆し)、⑥両親に従わず(親に逆らい)、⑦恩を知らず、⑧神を畏れなくなります。また、⑨情けを知らず、⑩和解せず、⑪中傷し(人をそしり)、⑫節度がなく(自制心がなく)、⑬残忍になり(粗暴になり)、⑭善を好まず、⑮人を裏切り、⑯軽率になり(向こう見ずになり)、⑰思い上がり(気が変になり)、⑱神よりも快楽を愛し、⑲信心を装いながら(見た目は敬虔※5であっても)、その実、信心の力を否定するようになります(敬虔の力を否定するようになります)。

※5：敬虔＝神仏を深く敬い仕えるさま。

危機は徐々にわれわれに忍びよっている。太陽は空に輝き、いつもの軌道を通り、天はいまも神の栄光をあらわしている。人々はいかかわらず飲み食い、植え、建て、めとり、とついでいる。商人たちはいかかわらず売り買いしている。人々は最高の地位を争ってお互いにおしのけ合っている。快楽を愛する者たちがいかかわらず劇場や、競馬や、ばくち場におしかけている。最高の興奮が行き渡っているが、**恩恵の時は急速に閉じられつつあり、各人の運命が永遠に決定されようとしている**。サタンは自分の時が短いことを知っている。サタンは人々が欺かれ、惑わされ、心を占領され、夢中になって、ついには恩恵の日が終わり、恵みの戸が永遠に閉ざされるように、すべての手下を働かせてきた。

オリブ山での主の警告のことは、幾世紀を経て今日のわれわれに厳粛にひびいてくる。「あなたがたが放縦や、泥酔や、世の煩いのために心が鈍っているうちに、**思いがけないとき、その日がわなのようにあなたがたを捕らえることがないように、よく注意していなさい**。……これらの起ろうとしているすべての事からのがれて、**人の子の前に立つことができるように、絶えず目をさまして祈っていなさい**」(ルカ 21:34, 36)。

～各時代の希望 第69章 オリブ山上で 希望への光 P.1003～

→ルカによる福音書 21:34 「放縦や深酒や生活の煩いで、心が鈍くならないように注意しなさい。

さもないと、その日が不意に罨のようにあなたがたを襲うことになる。

→ルカによる福音書 21:36 しかし、あなたがたは、起ころうとしているこれらすべてのことから逃れて、人の子の前に立つことができるように、いつも目を覚まして祈りなさい。」